

事前評価調書

I 事業概要																																							
事業名	交通安全施設等整備事業（視距改良）																																						
地区名	主要地方道 岡崎足助線																																						
事業箇所	豊田市中垣内町																																						
事業のあらまし	<p>当該路線は、豊田市役所松平支所へつながる幹線道路であり、地域住民の公共施設への重要な利用経路である。当該箇所は道路線形が大きくカーブしており、見通しの悪いため、近隣住民から一般交通の安全確保が強く望まれている。さらに近隣において自動車関連研究開発施設の建設が予定されており、今後も自動車交通量の増加も見込まれ、早急な対策が必要となっている。</p> <p>このため、視距の改良を行い、通行車両の安全性の向上を図るものである。</p>																																						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 視距を確保し、自動車交通の安全性の向上を図る。</p> <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p>																																						
事業費	事業費		内訳																																				
	3億円		□工事費 2.7億円、□用補費 0.2億円、□その他 0.1億円																																				
事業期間	採択予定年度	平成 25 年度	着工予定年度	平成 27 年度	完成予定年度	平成 27 年度																																	
事業内容	視距改良工事 1箇所																																						
II 評価																																							
①事業の必要性	1) 必要性	カーブが大きく、地形上対向車が非常に見づらいため、安全上必要な視距が確保されていない。																																					
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】 近隣において自動車関連研究開発施設の建設が予定されており、今後も自動車交通量の増加も見込まれ、通行車両の安全を確保するために視距改良が必要である。</p>																																				
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画及び実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p>							H25	H26	H27			工種 区分	調査・設計	←→					用地補償		←→				工事			←→			事業費（億円）		3				
			H25	H26	H27																																		
工種 区分	調査・設計	←→																																					
	用地補償		←→																																				
	工事			←→																																			
事業費（億円）		3																																					
2) 地元の合意形成	地元からの整備要望の声が強く、地元合意形成は容易になされる。																																						
判定	事業実施	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】 円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性は高いものと考えます。</p>																																					

Ⅲ 対応方針	
A	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
■対象（事業完了後 年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 事業実施前後の通行車両の安全性の変化	